

最高裁秘書第 2420 号

(庶ろ-02)

令和2年10月8日

× 高等裁判所長官 殿
地方裁判所長 殿
家庭裁判所長 殿
最高裁判所首席調査官 殿
最高裁判所大法廷首席書記官 殿
最高裁判所事務総局局課長 殿
司法研修所長 殿
裁判所職員総合研修所長 殿
最高裁判所図書館長 殿

最高裁判所事務総局秘書課長 大須賀 寛 之

× × × × × 「故中曽根康弘」内閣・自由民主党合同葬儀の当日における

弔意表明について（通知）

標記の合同葬儀の実施に伴い、内閣府事務次官から別添のとおり協力の依頼がありました。

なお、簡易裁判所に対しては、所管の地方裁判所長から通知してください。

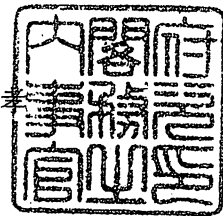


府 総 第 5 2 4 号
令和 2 年 1 0 月 2 日

最高裁判所事務総長 中 村 慎 殿

内閣府事務次官

山 崎 重 孝



「故中曾根康弘」内閣・自由民主党合同葬儀の当日における弔意表明について
(依命通知)

標記について、本日別紙のとおり閣議了解されましたので、貴所においてもよろしく御協力願いたく、命により御依頼申し上げます。

なお、弔意表明に際しては、下記事項に御配慮願います。

記

1. 弔旗掲揚については、大正元年閣令第1号に準拠し、竿球は黒布をもって覆い、旗竿の上部に黒布を付することとするが、弔旗として半旗掲揚の慣行のあるところでは、それに従ってもよいこと。
2. 黙とう時刻は、午後2時10分であること。



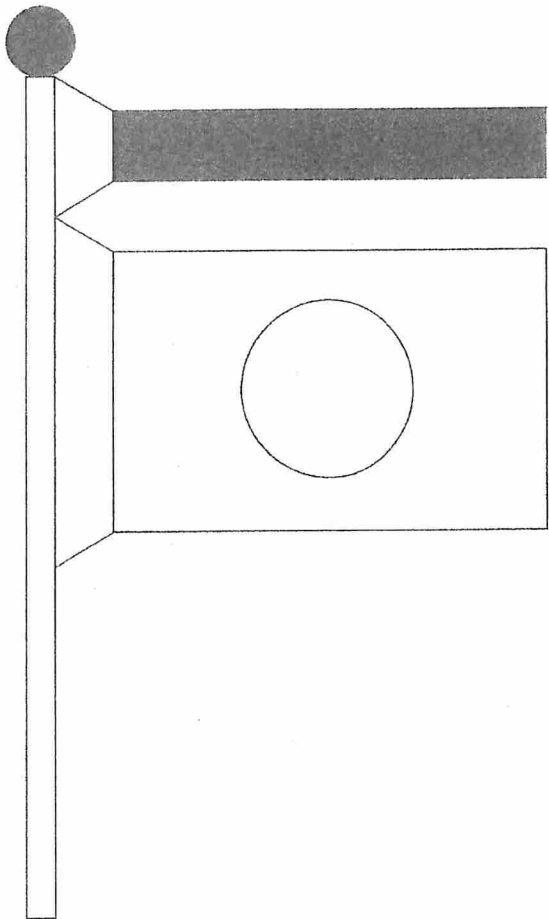
「故中曽根康弘」内閣・自由民主党合同葬儀の当日における
弔意表明について

（令和2年10月2日）
閣 議 了 解

「故中曽根康弘」内閣・自由民主党合同葬儀の当日（10月17日）には、哀悼の意を表するため、次のとおり措置するものとする。

- 1 各府省においては、弔旗を掲揚するとともに、葬儀中の一定時刻（午後2時10分）に黙とうすること。
- 2 各府省は、前項と同様の方法により、哀悼の意を表するよう、各公署に対し協力方を要望すること。

参 考



蔽	大	
ヒ	喪	
且	中	大
旗	國	喪
竿	旗	中
ノ	ヲ	ノ
上	掲	國
部	揚	旗
ニ	ス	掲
黒	ル	揚
布	ト	方
ヲ	キ	ノ
附	ハ	件
ス	竿	
ヘ	球	
シ	ハ	
其	黒	
ノ	布	
圖	ヲ	
式	以	
左	テ	
ノ	之	
如	ヲ	
シ		

大 閣 正 令 元 年 第 七 月 一 三 十 日